

取組み	取組みの主旨	考え方	活動概要	H26年度活動内容 取組み	活動成果	H27活動方針 来年度の活動方針(H26年度事務局案)		
問題解決に向けた 流域連携に関する 取組み	●山・川・海メンバーが相互理解できる機会を増やす 各部会WG活動の中で流域連携との関わりが深いテーマについては各部会に呼びかける。勉強会は流域連携を意図させるテーマで実施し、流域連携への関心を喚起することを提案する。 ●流域連携を話し合う場をつくる 市民会議、市民企画会議、勉強会を山・川・海の市民を中心としたメンバーで構成する流域連携の意見交換・情報交流の場と位置づける。	連携手法の検討	山部会	●山村再生担い手づくり事例集の作成	事例集作成（2年目）において取材先として川・海の団体を選定した。 取材先：矢作川森林塾、矢作川水族館、東幡豆漁協、佐久島もんべまき（4団体）	川・海の団体の取材者と取材を通して交流・相互理解に努めた。	●流域連携の取組みを推進していくために、ますますお互いの理解促進に努める。 ①山村再生担い手づくり事例集（山）と活動団体ヒアリング（川）といった異なる部会のWGでの同様の活動は部会連携で実施する。 ②各WG活動と他部会への参加を積極的に呼びかけることを実践していく。 ・山：山村再生担い手づくり事例集、木づかいライブ・スズガラキャラバン ・川：活動団体ヒアリング ・海：ごみ・流木調査、漁業者との交流会、干潟（試験造成）モニタリング	
			海部会	●第18回WGを「西の浜エクスカーション」として合同開催（2015.6.15）	WGを西の浜エクスカーションと合同開催し、ごみ・流木調査と活動報告を実施した。	山・川・海メンバーが30名参加し、ごみ・流木の実際把握と矢作川「川会議」や森の健康診断の活動報告など山や川に関する内容についての情報共有ができた。		
			勉強会	●矢作川流域圏の現状と課題に関わる勉強会の開催（第12回勉強会：2015.7.1）	第12回市民企画会議（5/14）の中で、市民が話し合い、勉強会のテーマを設定。	矢作川流域の現状と課題を辻本先生に講演してもらった後に話し合いを実施。各部会で議論した解決すべき課題も含め、新たな流域連携を考えていくきっかけとした。		
				●河川整備計画に関わる勉強会の開催（第13回勉強会：2015.12.15）	流域連携を考えていくベースとして、河川整備計画に関わる勉強会を開催した。	基礎的な知識を共有した。川の全体像が見える勉強会を通じて山・川・海の相互理解を図るものとした。		
			●話し合いの場づくり 各WG等の活動をサポートする中で、流域連携に向けての取組みへの関心の喚起・動員付けを実施する	市民企画会議①（2015.5.14）	H25年度活動結果を踏まえて、連携に向けた問題提起	・主務担当者の決定 テーマ別に山・川・海の代表者を選出した。 （ごみ・流木）山：洲崎（矢作川研究所）/大島（奥矢作森林塾）/川：内田（愛知工大）/海：井上（伊勢・三河湾流域ネットワーク） （土砂）山：藤治（東京大）/川：調整中/海：青木（大阪大） （木づかい）山：今村（根羽村森林組合）/川：光岡（豊田市自然愛護協会）/海：石川（東幡豆漁協）		●流域連携テーマは部会別WGと住み分けて実施する。 ①代表者会議 ②市民企画会議
				勉強会①（2015.7.1）	矢作川流域の現状・課題と流域連携に向けての意見交換を実施	・検討方針、進め方の共有 主務担当者より原案を作成して頂いたうえで、市民企画会議、市民会議にて議論を行い、山・川・海メンバーで共有した。		
				部会別WG	他の部会と連携して解決すべき課題の抽出、検討メンバーの選定			
				市民企画会議②（2015.10.23）	「ごみ・流木」「土砂」「木づかい」の3テーマで進め方を共有			
				勉強会②（2015.12.15）	基礎知識として「矢作川水系河川整備計画」についての情報共有			
			市民会議（2015.1.29）	流域連携テーマの検討方針と進め方を共有				
全体会議（2016.2.24）	次年度以降の流域連携テーマを話し合っていくことを確認							
流域連携テーマ	●山・川・海メンバーが相互理解できる機会を増やす 各部会WG活動の中で流域連携との関わりが深いテーマについては各部会に呼びかける。勉強会は流域連携を意図させるテーマで実施し、流域連携への関心を喚起することを提案する。 ●流域連携を話し合う場をつくる 市民会議、市民企画会議、勉強会を山・川・海の市民を中心としたメンバーで構成する流域連携の意見交換・情報交流の場と位置づける。	流域連携テーマ	(1) ごみ・流木	井上座長による原案に対して、 10月23日市民企画会議 1月29日市民会議 において議論を行い、意見を聴取し、メンバー間で共有した。	以下について意見聴取 ①流域連携で議論したい問題・課題 ②問題解決に向けて他部会に求めるもの、具体的に検討したいこと ③到達目標（今後2か年間） ④代表者会議の進め方 ⑤代表者会議と市民企画会議の連携	●流域連携テーマ検討の具体化 H26年度に方向性を明らかにした流域連携テーマについては、部会別WGとの住み分けを明確にすることで、検討の具体化をしていく。 基本的には、流域連携テーマの話し合いの中で、流域連携に向けて、各部会に望むことを話し合い、部会別WGにフィードバックする。		
			(2) 土砂	青木座長による原案に対して、 10月23日市民企画会議 1月29日市民会議 において議論を行い、意見を聴取し、メンバー間で共有した。				
			(3) 木づかい	今村参事による原案に対して、 10月23日市民企画会議 1月29日市民会議 において議論を行い、意見を聴取し、メンバー間で共有した。				
河川整備に関わる 情報共有・意見交換	●河川整備に関わる情報共有・意見交換する取組み 河川整備計画のフォローアップを行う。	全体会議で河川整備計画をフォローアップするとともに、事前に懇談会メンバーで情報共有のための勉強会を実施する。	勉強会	●矢作川流域圏の現状と課題に関わる勉強会の開催（第12回勉強会：2015.7.1）	矢作川流域の現状と課題を辻本先生に講演してもらった後に話し合いを実施。	●河川整備計画のフォローアップの改善 フォローアップの取組みを通じて流域圏一体化（各組織のネットワーク化）に繋げる。 ①整備量（率）からみた達成状況 アウトプット指標による効果の把握 ②流域圏懇談会との関わり 流域圏一体化に向けてどのような活動に活用されたかを定性的に把握（例えば、現地見学、調査モニタリング、事業への提案など） ③整備による効果の発現状況 流域圏懇談会の活動を通じて得られた整備効果（アウトカム）の把握（例えば、再生した干潟のモニタリングや樹木伐開のモニタリングなど） ④まずは、①を継続的に実施し、3サイクル（7年目以降）から、①～③まで含む本格的なフォローアップを実施する。		
			勉強会	●河川整備計画に関わる勉強会の開催（第13回勉強会：2015.12.15）	矢作川流域の河川整備計画（国、県）について、浅沼副所長（豊橋河川）と佐藤課長補佐（愛知県）が講演を行い、河川整備計画の進捗について情報共有した。			
			全体会議	河川整備計画のフォローアップ状況の共有	河川整備計画のフォローアップ状況について情報共有した。			